

目標達成計画

作成日: 平成26年10月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自主訓練を重ね、利用者の動きを把握することや、職員がスムーズに避難誘導できるようにしてほしい。備蓄の充実もお願いしたい。	①非常災害時に食事に困らない様になる。 ②緊急時の利用者様の動きを職員全員が把握できる。	①非常災害時に使用できる保存食品・水、懐中電灯を購入する。 ②毎月の自主避難訓練で利用者様に協力して頂き、2か月に1回避難の訓練を行う。	1ヶ月
2	49	日常的に外出の機会を持つことや、ベランダを活用して気軽に外の風に当たる機会にほしい。	①外に出て気分転換することができる。	①天気の良い日、職員の体制が整っている日にはベランダでのお茶やレクリエーションを行っていく。また、お散歩へ出かける。	1ヶ月
3	45	入居時の希望を大事にすることや、日々入浴ができることとお知らせし、その日その日の希望で支援してほしい。	①希望日に入浴して頂ける体制を整えることができる。	①職員が4人いる日は、朝のバイタル測定を行うときに利用者様全員に入浴の希望を伺う。	1ヶ月
4	10	開設間もないので家族に事業所の意義とサービス内容をよく知ってもらう必要もあることから、まずは本人と家族の希望や意見を多方面からアプローチして収集してほしい。	①ご家族、ご本人が希望を言いやすく、その希望をできる限り運営に反映させることができる。	①普段の会話から希望を汲み取り、職員全員で周知できるようケアプランに反映させる。今までの生活を継続できるように選択肢を用意する。	1ヶ月
5	6	ふらりと出かける人の特徴の把握や意識をそらす工夫を行いながら開錠に向けて努力をしてほしい。	①外に出かけたい欲求が軽減でき、穏やかな生活を送ることができる。 ②難荘があったときに地域住民の方から協力を得られる。 ③開錠する時間を作れる。	①階段のガラスに飾りを貼り意識が向かない様にする。また、ベランダにプランターを置き、野菜や花を育て外に出る機会を増やしていく。 ②個人のカルテに写真と特徴を記載したものを用意する。また、地域住民の方にふらりと出かけるような方の特徴を伝える。 ③運営推進会議等でご家族に理解を得ながら、短時間でも開錠できるように努める。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

0272120666

はあとらんど

三和会 しょうわ

14-10-21; 09:38